

## オバマ大統領の就任演説における科学技術・高等教育部分について（1月22日）

1月21日にオバマ大統領の第2期大統領就任式典が行われ、約18分間にわたる就任演説の中でオバマ大統領は科学技術分野の案件についても言及した。

具体的には、①数学・科学教員の育成及び研究機関、②気候変動への取組、③持続可能エネルギー源の開発及び雇用・産業の活性化に触れた。気候変動に関しては、気候変動懐疑論者の存在を認識しながらも、気候変動問題への取り組みの喫緊性について説いた。

### ①数学・科学教員の育成、研究機関

「…時代の変化とともに国民も変化しなければならないことは、我々は常に理解してきた。建国精神に忠実であるためには、新たな課題への新たな対応が求められる。個人の自由を守るためには、結局は集団行動が求められる。…誰も一人では、子どもの将来に必要な数学・科学全般の教師を訓練できないし、米国に新たな雇用や事業をもたらす道路・ネットワーク・研究所も築けない。これまでになく我々は一つの国・一人の国民として、共にそれらの課題に取り組まなければならない。」

### ②気候変動への取組

「…我々国民は、アメリカ国民としての責務が、自らのためだけでなく全ての子孫のためでもあると確信している。我々は、気候変動という脅威に対応していく。もし対応を誤れば、我々の子どもや将来の世代を裏切ることになるだろう。科学に基づく確かな判断を否定する者もいるかもしれないが、燃え盛る森林火災・深刻な干ばつ・強力なストームによる壊滅的な打撃は誰も避けられない。」

### ③持続可能エネルギー源の開発及び雇用・産業の活性化

「持続可能なエネルギー源の確保は、長く、時には困難な道のりとなるだろう。しかし、我が国はこの変遷に逆らうことはできないし、我々が先導しなければならない。我々は、新たな雇用や産業を生む技術で他の国々に遅れを取ることはできないし、その約束を果たしていかなければならない。そのために我々は、国の経済活力や国の宝 — 森、川、畑、雪に覆われた山々 — を維持するのだ。」

なお、オバマ大統領就任演説全文は、

<<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2013/01/21/inaugural-address-president-barack-obama>>から閲覧可能。

American Institute of Physics, Inauguration Speech on Climate Change, STEM Education, Research Labs, Sustainable Energy and Jobs

<http://www.aip.org/fyi/2013/015.html>